

古文ドリル：「たり」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「たり」の3用法

古文の「たり」は **2種類の助動詞** + 形容動詞（タリ活用）の活用語尾 で出てきます。

種類	接続	訳
① 完了・存続「たり」	連用形	～してしまった／～している
② 断定「たり」	体言（限定的）	～である
③ 形容動詞タリ活用の活用語尾「たり」	漢語（堂々・漫々など）と合わせて一語	～としている

識別の鉄則

- 連用形＋たり** → 完了・存続
- 体言＋たり**（武士たり等） → 断定（漢文訓読体）
- 漢語＋たり で一語**（堂々たり等） → 形容動詞タリ活用の活用語尾

完了・存続の見分け

用法	判別
完了	動作の完了（～してしまった）
存続	動作やその結果の状態が続いている（～ている・～てある）

例： - 「咲き**たり**」（完了）：咲いた - 「咲きてあり」 → 「咲き**たり**」（存続）：咲いている
→ 文脈で判別。多くは存続。

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は見分けのもとになる文法の決まり。
こちらは **試験本番ですばやく答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① 「たり」の直前を見れば、ほぼ決まる

「たり」の直前が **連用形**（動詞や、「る・らる」などの助動詞）か **体言**（名詞）か、ここだけ見る。
- 連用形＋たり（咲き**たり**／降り**たり**／祈り**たり**）→ **完了・存続** - 体言＋たり（武士**たり**／主**たり**／仏徒**たり**）→ **断定**

入試で出る「たり」は完了・存続が多い。ただし直前が体言なら断定なので、まず直前を確かめる。

コツ② 断定「たり」は漢文訓読体のニオイ

断定「たり」は和文ではほぼ出ない。 - 「武士**たり**」「主**たり**」「徒**たり**」「仏徒**たり**」のような **漢語の体言＋たり** が来たら断定 - 「～たれば」「～たりけり」と続く時、直前が体言なら断定

断定「たり」の上には、「武士・大将・国司・住持」など身分や官職を表す漢語が来ることが多い。

コツ③ 完了か存続かは「文脈で動作中？それとも終わった？」

ニュアンスの区別は厳密にやろうとすると沼。基本は次のルートで決める。 - 動作の完了（～してしまった）：「咲き**たり**」＝咲いた - 動作やその結果の状態が続いている（～ている）：「咲き**たり**」＝咲いている

迷ったら **存続を優先**。古文「たり」は存続用法が圧倒的に多い。

コツ④ 「たる／たれ／たれ」の活用形は下接語で即決

- ・ たる＋体言 → 連体形（咲き**たる**花）
- ・ たれ＋ば／ども → 已然形（咲き**たれば**／**たれ**ども）
- ・ たれ（文末で命じる） → 命令形（ここに待ち**たれ**＝待っていよ）

「たれ＋ば」が来たら**已然形＋順接**で「～したので」とほぼ自動翻訳できる。

試験本番でのチェック順序

1. 「たり」の **直前** を見る（連用形？それとも体言？）
2. 連用形なら → 完了・存続で確定（迷ったら存続）
3. 体言（特に漢語）なら → 断定で確定
4. 「たる／たれ」の活用形は **直後の語** で判断

→ この順番で見れば、すばやく答えが出ます。

よくある引っかけ

- ・ 「サ変連用＋たり」（行幸**したり**／出仕**したり**）を断定と勘違いする（実は連用形＋完了）
- ・ 「来**たりたり**」「来た**れり**」のように **四段動詞「来たる」** がまじる形で混乱する（上の「来たり」「来たれ」は四段「来たる」の連用形・已然形で、助動詞「たり」ではない。太字の「たり」

「り」が完了の助動詞。ただし文末の「春来たり。」は、四段なら「来たる。」となるので、カ変「来（き）」＋完了「たり」

- ・「堂々**たり**」のような **形容動詞タリ活用** を断定と混同する（漢語＋たり一語で形容動詞）

採点表

- ・ 基礎（Q1～Q20）： ／20
- ・ 標準（Q21～Q50）： ／30
- ・ 応用（Q51～Q80）： ／30
- ・ 入試レベル（Q81～Q100）： ／20
- ・ 合計： ／100

【第1部】 基礎編

Q1. 「たり」の用法を答えよ。

文を書き**たり**。

答え：完了・存続の助動詞「たり」終止形 **解説**：「書き」（四段「書く」連用形）＋「たり」。「手紙を書いている／書いた」。

Q2. 「たり」を識別せよ。

武士**たり**。

答え：断定の助動詞「たり」 **解説**：体言「武士」＋「たり」。漢文訓読体。「武士である」。

Q3. 「たり」を識別せよ。

月出で**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説**：「出で」連用＋「たり」。「月が出ていた／出てしまった」。

Q4. 「たり」を識別せよ。

兄は大納言**たり**。

答え：断定「たり」 **解説：**体言「大納言」（官職名の漢語）＋「たり」。「兄は大納言である」。

Q5. 「たり」を識別せよ。

風吹**きたり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「吹き」連用＋「たり」。

Q6. 「たり」を識別せよ。

庭に花ぞ咲**きたる**。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「咲き」連用＋「たる」（連体形）。係助詞「ぞ」の結びなので、文末でも連体形になる。

Q7. 「たり」を識別せよ。

仏に祈**りたり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「祈り」連用＋「たり」。

Q8. 「たり」を識別せよ。

雪降**りたれば**、道見えず。

答え：完了・存続「たり」已然形「たれ」 **解説：**「降り」連用＋「たれ」＋「ば」。

Q9. 「たり」を識別せよ。

名高き将軍**たり**。

答え：断定「たり」 **解説：**体言「将軍」（漢語）＋「たり」（漢文訓読体）。「名高い将軍である」。

Q10. 「たり」を識別せよ。

鳥鳴き**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「鳴き」連用＋「たり」。

Q11. 「たり」を識別せよ。

嵐山に登り**たる**人。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「登り」連用＋「たる」＋体言「人」。

Q12. 「たり」を識別せよ。

月隠れ**たり**ければ、暗し。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**「隠れ」連用＋「たり」連用＋「けり」已然＋「ば」。

Q13. 「たり」を識別せよ。

物言ひ**たれ**ども、答へず。

答え：完了・存続「たり」已然形＋逆接「ども」 **解説：**「言ひ」連用＋「たれ」＋「ども」。

Q14. 「たり」を識別せよ。

春来**たり**。

答え：完了・存続の助動詞「たり」終止形 **解説：**「来（き）」（カ変連用）＋完了「たり」終止形。「春が来ている」。完了「たり」は連用形接続。文末なので終止形で、四段動詞「来たる」なら文末は「来たる」となるから、ここは「来（き）＋たり」（Q58の「来たれり」と比べよう）。

Q15. 「たり」を識別せよ。

人々、山寺に詣で**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「詣で」（下二段「詣づ」連用形）＋「たり」。「人々が山寺にお参りした」。

Q16. 「たり」を識別せよ。

風やみて、静かなる夜になり**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「なり」は四段動詞「なる（成る）」の連用形＋「たり」。「風がやんで、静かな夜になっている」。断定の助動詞「なり」に「たり」は付かない。

Q17. 「たり」を識別せよ。

歌の道にて名を得**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「得（え）」（下二段「得（う）」の連用形）＋「たり」。「和歌の道で名声を得ている」。

Q18. 「たり」を識別せよ。

古き友、いま生きた**り**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「生き」連用＋「たり」。「古い友は、今、生きている」（存続）。

Q19. 「たり」を識別せよ。

都に生まれ**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「生まれ」連用＋「たり」。

Q20. 「たり」を識別せよ。

雪深く積もり**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「積もり」連用＋「たり」。「雪が深く積もっている」。

基礎編 / 20

【第2部】標準編

Q21. 「たり」を識別せよ。

琴の道を究め**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「究め」（下二段「究む」連用形）＋「たり」。「琴の道をきわめた」。

Q22. 「たり」を識別せよ。

法皇、御幸し**たり**けり。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**「し」（サ変連用）＋「たり」連用＋「けり」。

Q23. 「たり」を識別せよ。

古き寺、いまも残り**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「残り」連用＋「たり」。「古い寺が、今も残っている」（存続）。

Q24. 「たり」を識別せよ。

われ、この寺の住持**たり**。

答え：断定「たり」 **解説：**体言「住持」（漢語＝寺の長である僧）＋「たり」。「私はこの寺の住職である」。

Q25. 「たり」を識別せよ。

月、清く照り**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「照り」連用＋「たり」。

Q26. 「たり」を識別せよ。

風吹き、波立ち**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「立ち」連用＋「たり」。

Q27. 「たり」を識別せよ。

花の散り**たる**を見て、歌を詠む。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「散り」（四段「散る」連用形）＋「たる」（連体形。下に「の・こと」を補って読む準体法）＋格助詞「を」。「花が散っているのを見て、歌を詠む」。

Q28. 「たり」を識別せよ。

博士**たれば**、人に文を教ふ。

答え：断定「たり」已然形「たれ」 **解説：**体言「博士」（漢語）＋「たれ」＋「ば」（原因・理由）。「博士であるので、人に学問を教える」。

Q29. 「たり」を識別せよ。

我れ仕うまつり**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「仕うまつり」連用＋「たり」。

Q30. 「たり」を識別せよ。

言ひ**たり**つる人。

答え：完了・存続「たり」連用形＋完了「つ」連体形「つる」 **解説：**「言ひ」連用＋「たり」連用＋「つる」＋体言「人」。

Q31. 「たり」を識別せよ。

艫舳に走り回り、掃い**たり**拭う**たり**、塵拾ひ、手づから掃除せられけり。

答え：完了・存続「たり」（並列的用法） **解説：**平家物語「先帝身投」。「掃い」は四段「掃く」の連用形「掃き」のイ音便、「拭う」は四段「拭ふ」の連用形「拭ひ」のウ音便で、どちらも連用形＋「たり」。「～たり～たり」と重ねて並べる言い方。「(知盛は) 船の後ろや前を走り回り、掃いたり拭いたり、ちりを拾ったりして、自ら掃除をなさった」。※この並列用法は中世以降に発達したもので、平安以前の和文ではあまり用いられない。

Q32. 「たり」を識別せよ。

寝**たる**人、起きず。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「寝（ね）」連用＋「たる」＋体言「人」。

Q33. 「たり」を識別せよ。

雨降り**たる**を、出でられず。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「降り」連用＋「たる」（連体形）＋接続助詞「を」（～ので）。「雨が降っているので、出かけられない」。

Q34. 「たり」を識別せよ。

昔、この里に住み**たり**ける人。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」連体形「ける」 **解説：**「住み」（四段「住む」連用形）＋「たり」連用＋「ける」＋体言「人」。「昔、この里に住んでいた人」。

Q35. 「たり」を識別せよ。

物食はずして瘦せ**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「瘦せ」連用＋「たり」。

Q36. 「たり」を識別せよ。

知り**たれ**ども、隠す。

答え：完了・存続「たり」已然形「たれ」＋逆接「ども」 **解説：**「知り」連用＋「たれ」＋「ども」。

Q37. 「たり」を識別せよ。

雪降り**たる**夜。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「降り」連用＋「たる」＋体言「夜」。

Q38. 「たり」を識別せよ。

かの人、時の関白**たり**。

答え：断定「たり」 **解説：**体言「関白」（漢語の官職名）＋「たり」。「あの人、その時の関白である」。

Q39. 「たり」を識別せよ。

我れ仏徒**たり**。

答え：断定「たり」 **解説：**体言「仏徒」＋「たり」。「私は仏教徒である」。

Q40. 「たり」を識別せよ。

その僧、長く山寺に籠もり**たり**けり。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**「籠もり」（四段「籠もる」連用形）＋「たり」連用＋「けり」。「その僧は、長い間山寺にこもっていた」。

Q41. 「たり」を識別せよ。

幼きより文を学び**たり**けり。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**「学び」（四段「学ぶ」連用）＋「たり」連用＋過去「けり」。「幼いころから学問を学んでいたのだった」。

Q42. 「たり」を識別せよ。

仕うまつり**たる**御方。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「仕うまつり」連用＋「たる」＋体言「御方」。

Q43. 「たり」を識別せよ。

この人は、弓の名人**たり**。

答え：断定「たり」 **解説：**体言「名人」（漢語）＋「たり」（漢文訓読体）。「この人は、弓の名人である」。

Q44. 「たり」を識別せよ。

戸口に立ち**たる**童。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「立ち」（四段「立つ」連用形）＋「たる」＋体言「童」。「戸口に立っている子ども」。

Q45. 「たり」を識別せよ。

月、いま隠れ**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「隠れ」連用＋「たり」。

Q46. 「たり」を識別せよ。

古き友、なほ生き**たれば**、訪ね給へ。

答え：完了・存続「たり」已然形「たれ」 **解説：**「生き」連用＋「たれ」＋「ば」。

Q47. 「たり」を識別せよ。

しばし、ここに待ち**たれ**。

答え：完了・存続「たり」命令形「たれ」 **解説：**「待ち」（四段「待つ」連用形）＋「たれ」。已然形と同じ形だが、下に「ば・ど・ども」がなく、上に「こそ」もない文末で、相手に命じているので命令形。「しばらく、ここで待っていなさい」。

Q48. 「たり」を識別せよ。

知り**たり**けり。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**「知り」連用＋「たり」連用＋「けり」。

Q49. 「たり」を識別せよ。

物言ひ**たる**を、悔やむ。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「言ひ」連用＋「たる」（連体形。下に「こと」を補って読む準体法）＋格助詞「を」。「何か言ってしまったことを、悔やむ」。

Q50. 「たり」を識別せよ。

かの僧は、われらが師**たり**。

答え：断定「たり」 **解説：**体言「師」（漢語）＋「たり」。「あの僧は、私たちの師である」。

標準編 / 30

【第3部】 応用編

Q51. 「たり」を識別せよ。

この道の奥を心得**たり**ける人。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」連体形 **解説：**「心得（こころえ）」（下二段「心得（こころう）」連用形）＋「たり」連用＋「ける」＋体言「人」。「この道の奥深いところを理解していた人」。

Q52. 「たり」を識別せよ。

我れ歌詠み**たる**を、人皆称ふ。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「詠み」連用＋「たる」（連体形。下に「歌」を補って読む準体法）＋格助詞「を」。「私が詠んだ歌を、人は皆ほめたたえる」。

Q53. 「たり」を識別せよ。

風吹き**たれば**、舟漕ぎ出でぬ。

答え：完了・存続「たり」已然形「たれ」 **解説：**「吹き」連用＋「たれ」＋「ば」。

Q54. 「たり」を識別せよ。

夜更けぬ。門をかたく閉ぢ**たれ**。

答え：完了・存続「たり」命令形「たれ」 **解説：**「閉ぢ」（上二段「閉づ」連用形）＋「たれ」（命令）。「夜がふけた。門をしっかり閉めておけ」。

Q55. 「たり」を識別せよ。

古き寺に祈りたる僧。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「祈り」連用＋「たる」＋体言「僧」。

Q56. 「たり」を識別せよ。

もとは武士たりしが、いまは世を捨てて僧となれり。

答え：断定「たり」連用形＋過去「き」連体形「し」 **解説：**体言「武士」＋「たり」連用＋「し」＋「が」(逆接)。「以前は武士であったが、今は出家して僧になっている」。

Q57. 「たり」を識別せよ。

心を尽くしたるを、人知らず。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「尽くし」連用＋「たる」(連体形。下に「こと」を補って読む準体法)＋格助詞「を」。「心を尽くしていることを、人は知らない」。

Q58. 「たり」を識別せよ。

春すでに来たれり。

答え：助動詞「たり」ではない(四段動詞「来たる」の已然形「来たれ」の一部。下の「り」は完了「り」終止形) **解説：**四段「来たる」(きたる、=やって来る)已然形「来たれ」＋完了「り」終止形。完了「り」はサ変未然＋四段已然接続(「サ未四已(さみしい)」。助動詞「たり」の已然形「たれ」の下に「り」が付くことはない。「春がもう来ている」。

Q59. 「たり」を識別せよ。

物のあはれを知りたる人にあらず。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「知り」連用＋「たる」＋体言「人」＋「にあらず」。

Q60. 「たり」を識別せよ。

国司たれば、民を治む。

答え：断定「たり」已然形「たれ」 **解説：**体言「国司」（漢語の官職名）＋「たれ」＋「ば」（原因）。「国司であるので、民を治める」。

Q61. 「たり」を識別せよ。

雪深く積もり**たれば**、道閉ざさる。

答え：完了・存続「たり」已然形「たれ」 **解説：**「積もり」連用＋「たれ」＋「ば」。

Q62. 「たり」を識別せよ。

かの僧の父は大臣**たり**けり、と人語る。

答え：断定「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**体言「大臣」（漢語）＋「たり」連用＋「けり」終止＋引用「と」。「『あの僧の父は大臣であった』と人が語る」。

Q63. 「たり」を識別せよ。

詩の才に秀で**たる**人。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「秀で」（下二段「秀づ」連用形）＋「たる」＋体言「人」。「漢詩の才能にすぐれている人」。

Q64. 「たり」を識別せよ。

雨止み**たる**夜。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「止み」連用＋「たる」＋体言「夜」。

Q65. 「たり」を識別せよ。

物言ふ間もあらずして、立ち去り**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「立ち去り」連用＋「たり」。

Q66. 「たり」を識別せよ。

仏の道を修行し**たる**聖。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「修行し」（サ変「修行す」の連用形）＋「たる」＋体言「聖」。「仏道を修行している聖（徳の高い僧）」。

Q67. 「たり」を識別せよ。

笛吹き**たる**人こそ、心にくけれ。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「吹き」（四段「吹く」連用形）＋「たる」＋体言「人」＋係助詞「こそ」（結びは形容詞「心にくし」の已然形「心にくけれ」）。「笛を吹いている人こそ、奥ゆかしい」。

Q68. 「たり」を識別せよ。

昔、都に仕へ**たり**ける翁、いま語る。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」連体形「ける」 **解説：**「仕へ」（下二段「仕ふ」連用形）＋「たり」連用＋「ける」＋体言「翁」。「昔、都でお仕えしていた老人が、今語る」。

Q69. 「たり」を識別せよ。

我れ仏徒**たれば**、戒律を守る。

答え：断定「たり」已然形「たれ」 **解説：**体言「仏徒」＋「たれ」＋「ば」（原因）。

Q70. 「たり」を識別せよ。

物のあはれを知り**たれ**ども、口に出さず。

答え：完了・存続「たり」已然形「たれ」＋逆接「ども」 **解説：**「知り」連用＋「たれ」＋「ども」。

Q71. 「たり」を識別せよ。

月、雲に隠れ**たれば**、星明らかなり。

答え：完了・存続「たり」已然形「たれ」 **解説：**「隠れ」連用＋「たれ」＋「ば」。

Q72. 「たり」を識別せよ。

仏の前に花を捧げ**たる**人。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「捧げ」（下二段「捧ぐ」連用形）＋「たる」＋体言「人」。「仏の前に花をささげている人」。

Q73. 「たり」を識別せよ。

京の都の栄え**たる**世。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「栄え」（下二段「栄ゆ」連用形）＋「たる」＋体言「世」。「京の都が栄えていた時代」。

Q74. 「たり」を識別せよ。

年ごろ仕うまつり**たる**を、君忘れ給はず。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「仕うまつり」連用＋「たる」（連体形。下に「こと」を補って読む準体法）＋格助詞「を」。「長年お仕えしてきたことを、主君はお忘れにならない」。

Q75. 「たり」を識別せよ。

鶯鳴き**たり**けり。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**「鳴き」連用＋「たり」連用＋「けり」。

Q76. 「たり」を識別せよ。

古き寺、いま壊れ**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「壊れ」連用＋「たり」。「古い寺が、今、壊れている」（存続）。

Q77. 「たり」を識別せよ。

風吹き、雲流れ**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「流れ」連用＋「たり」。

Q78. 「たり」を識別せよ。

日暮れぬれど、旅人なほ急ぎ**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「急ぎ」（四段「急ぐ」連用形）＋「たり」。「日が暮れてしまったが、旅人はなお急いでいる」。

Q79. 「たり」を識別せよ。

春雨降り**たり**けり。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**「降り」連用＋「たり」連用＋「けり」。

Q80. 「たり」を識別せよ。

われ、帝の臣**たり**。

答え：断定「たり」 **解説：**体言「臣」（漢語）＋「たり」（漢文訓読体）。「私は帝の家臣である」。

応用編 / 30

【第4部】入試レベル

Q81. 「たり」を識別せよ。

雪のいと高う降り**たる**を、例ならず御格子参りて、…

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**枕草子「香炉峰の雪」。「降り」連用＋「たる」（連体形）＋接続助詞「を」（～のに）。「雪がたいそう高く降り積もっているのに、いつもと違って御格子をお下ろして」。

Q82. 「たり」を識別せよ。

京にて生まれ**たり**し女子、国にてにはかに失せにしかば、…

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「き」連体形「し」 **解説：**土佐日記の一節。「京で生まれた女子」。

Q83. 「たり」を識別せよ。

無期ののちに、「えい。」といらへ**たり**ければ、僧たち笑ふこと限りなし。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**宇治拾遺物語「児のそら寝」。「いらへ」（下二段「いらふ」連用形）＋「たり」連用＋過去「けり」已然形「けれ」＋接続助詞「ば」。「ずいぶん時間がたってから『はい』と返事をしたので、僧たちが笑うことこの上ない」。

Q84. 「たり」を識別せよ。

ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまり**たる**ためしなし。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**方丈記の冒頭（本文どおり）。「とどまり」（四段「とどまる」連用形）＋「たる」＋体言「ためし」。「長くとどまっている例はない」。

Q85. 「たり」を識別せよ。

しかるを忠盛備前守**たり**し時、鳥羽院の御願、得長寿院を造進して、…

答え：断定「たり」連用形＋過去「き」連体形「し」 **解説：**平家物語「殿上闇討」。体言「備前守」（官職名）＋「たり」連用＋過去「き」連体形「し」＋体言「時」。「ところが、忠盛が備前守であった時、鳥羽院の御願寺として得長寿院を造って献上して」。

Q86. 「たり」を識別せよ。

我が祖、武士**たり**けり。

答え：断定「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**体言「武士」＋「たり」連用＋「けり」。

Q87. 「たり」を識別せよ。

白き衣、山吹などのなえたる着て、走り来**たる**女子、あまた見えつる子どもに似るべうもあらず、…

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**源氏物語「若紫」。「走り来（き）」（カ変「走り来（く）」の連用形）＋「たる」＋体言「女子」。「白い下着に山吹襲などの着なれた衣を着て、走って来た女の子は、大勢見えていた子どもたちとは似ても似つかず」。「来たる」を四段動詞とみる考え方もあるが、和文の源氏物語ではカ変「来」＋「たり」とみるのがふつう。

Q88. 「たり」を識別せよ。

夜もすがら歩み**たれば**、足いたし。

答え：完了・存続「たり」已然形「たれ」 **解説：**「歩み」（四段「歩む」連用形）＋「たれ」＋「ば」（原因・理由）。「一晩中歩いたので、足が痛い」。

Q89. 「たり」を識別せよ。

「はや夜も明けなむ。」と思ひつつ**みたり**けるに、鬼はや一口に食ひてけり。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」 **解説：**伊勢物語「芥川」。「み」（上一段「みる」連用形）＋「たり」連用形＋過去「けり」連体形「ける」＋接続助詞「に」。「『早く夜が明けてほしい』と思いながら座っていたところ、鬼がたちまち（女を）一口に食べてしまった」。

Q90. 「たり」を識別せよ。

主君**たれば**、その命に背かず。

答え：断定「たり」已然形「たれ」 **解説：**体言「主君」（漢語）＋「たれ」＋「ば」（原因・理由）。已然形＋「ば」は確定条件。「主君であるので、その命令に背かない」。

Q91. 「たり」を識別せよ。

仕うまつり**たり**つる年月。

答え：完了・存続「たり」連用形＋完了「つ」連体形「つる」 **解説：**「仕うまつり」連用＋「たり」連用＋「つる」＋体言「年月」。

Q92. 「たり」を識別せよ。

かの人、大将**たり**ければ、兵みな従ひけり。

答え：断定「たり」連用形＋過去「けり」已然形「けれ」 **解説：**体言「大将」（漢語）＋「たり」連用＋「けれ」＋「ば」（原因）。「あの人是大将であったので、兵は皆従った」。

Q93. 「たり」を識別せよ。

露の置き**たる**朝の庭。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「置き」（四段「置く」連用形）＋「たる」＋体言「朝」。「露が降りている朝の庭」。

Q94. 「たり」を識別せよ。

師の言ひ置き**たり**けるを、いまでも忘れず。

答え：完了・存続「たり」連用形＋過去「けり」連体形「ける」 **解説：**「言ひ置き」（四段「言ひ置く」連用形）＋「たり」連用＋過去「けり」連体形「ける」（下に「こと」を補って読む準体法）＋格助詞「を」。「師が言い残していたことを、今も忘れない」。

Q95. 「たり」を識別せよ。

雪深き山に閉ざされ**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「閉ざさ」（四段「閉ざす」未然形）＋受身「る」連用形「れ」＋「たり」。「雪深い山に閉じこめられている」。

Q96. 「たり」を識別せよ。

嫡男**たれば**、父の跡を継ぐ。

答え：断定「たり」已然形「たれ」 **解説：**体言「嫡男」（漢語＝跡取りの長男）＋「たれ」＋「ば」（原因）。「跡取りの長男であるので、父の跡を継ぐ」。

Q97. 「たり」を識別せよ。

物言ひ**たる**罪、いま赦されず。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説：**「言ひ」連用＋「たる」＋体言「罪」。

Q98. 「たり」を識別せよ。

花、盛りを過ぎ**たり**。

答え：完了・存続「たり」 **解説：**「過ぎ」（上二段「過ぐ」連用形）＋「たり」。「花は盛りを過ぎてしまった」。

Q99. 「たり」を識別せよ。

昔の人の書き置き**たる**を、世に伝ふ。

答え：完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説**：「書き置き」（四段「書き置く」連用形）＋「たる」（連体形。下に「もの」を補って読む準体法）＋格助詞「を」。「昔の人が書き残しているものを、世に伝える」。

Q100. 「たり」を識別せよ。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山際、すこしあかりて、紫だち**たる**雲のほそくたなびき**たる**。

答え：両方とも完了・存続「たり」連体形「たる」 **解説**：枕草子冒頭。原文どおり。「紫がかっている雲が、細くたなびいている（のがよい）」。「文末の「たなびきたる」は、下に「（のが）をかし」などを補って読む連体形止め。

入試レベル / 20

合計 / 100

あとがき

「たり」の識別の核心： - **連用形＋たり** → 完了・存続（圧倒的多数） - **体言＋たり**（武士たり等）
→ 断定（漢文訓読体・稀） - **漢語＋たり**（「堂々たり」など） → 形容動詞タリ活用の活用語尾

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太